

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	421	施策	学校教育の充実
管理事業	特別支援教育事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	学校教育室	事業名	特別支援教育事業
事業概要				
障がい児介助員配置、支援学級支援、市立小中学校医療的ケア体制整備推進				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
<p>(1)障がい児介助員配置事業 障がいのある児童・生徒の生活介助や安全確保を図るため、障がい児介助員及び障がい児補助員を小・中学校に配置した。 障がい児介助員配置人数 平成30年度…46人 令和元年度…45人 令和2年度…42人 障がい児補助員配置人数 平成30年度…47人 令和元年度…44人 令和2年度…49人</p> <p>(2)支援学級支援事業 肢体不自由児訓練の実施、階段昇降機の配置、支援教室の改修等を通じて、支援学級在籍児童・生徒の支援を図った。また、肢体不自由児センター校に校区外から通学する児童のため、車椅子対応のリフト付きワゴン車を運行した。 肢体不自由児訓練実施回数 平成30年度…35回 令和元年度…36回 令和2年度…28回</p> <p>(3)市立小中学校医療的ケア体制整備推進事業 医療的ケアを必要とする児童・生徒が在籍する学校に、看護師を配置し、安全な学校生活と教育活動の保障を行った。 平成30年度…19人配置 令和元年度…18人配置 令和2年度…18人配置</p>		決算額（千円）	240,794	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も学校のニーズ把握、介助員等の人材確保に努めていく。
		一般財源の比率（%）	96.4	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

2	所管室課	教育センター	事業名	特別支援教育推進事業
事業概要				
特別支援教育推進				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
<p>特別支援教育推進事業 学習症児、注意欠如・多動症児等の特別な教育的支援を必要とする園児・児童・生徒及びその保護者に対する支援を行った。 ・特別支援教育推進事業に関わる延べ学校訪問回数 平成30年度…270回、令和元年度…234回、令和2年度…187回</p>		決算額（千円）	4,350	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後も引き続き、学校教育向上のために事業を継続していく。
		一般財源の比率（%）	99.8	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率（%）		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名